2021 年度第 2 回評議員会議事概要

日時：2021 年 7 月 3 日（土） 15：00−18：00
場所：一般社団法人日本結晶学会事務局
出席者※：Zoom 会議
海野昌喜[a]，岡崎伸生[a]（情報幹事），尾関智二[a]，上村みどり[a]，神山 崇[a]（監査役），熊坂 崇[a]，栗栖源嗣[a]，小島優子[a]，小松一生（会計幹事），清水敏之[a]，菅原洋子（監査役），関根あき子[a]，千田俊哉[a]，玉田太郎[a]，藤間祥子[a]，中川敦史，西堀英治[a]，禾 晃和（庶務幹事），橋爪大輔（行事幹事），橋本 博[a]，樋口芳樹[a]，平田邦生[a]，松村浩由[a]，三木邦夫[a]，宮原郁子[a]，森 茂生（広報幹事），姚 閔[a]，山縣ゆり子[a]（会長），和田 啓[a]
委任状出席者：足立伸一[a]，井上 豪[a]，植草秀裕，杉山和正[a]，千田美紀[a]，森吉千佳子[a]（男女共同参画推進幹事），山本雅貴[a]，吉朝 朗[a]
議長：山縣ゆり子（会長）
議事録作成者：禾 晃和（庶務幹事）
2021 年度第 2 回評議員会（定数 30，構成員は[a]で表記）：出席 23，委任状出席 7，欠席 0
（五十音順）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので，議長は定刻に開会を宣し，下記のとおり議事に入った. また、議事録署名人として岡崎評議員が選出された.

議事

Zoom 会議にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認し，報告および審議が行われた.

報告事項

1　幹事報告

1.1庶務幹事報告（禾庶務幹事）

2021 年 3 月 26 日から 2021 年 6 月 22 日までの会員の異動状況が報告された．2021 年 6 月 22 日現在の会員数は, 1052（個人会員 1032 名，賛助会員 20 社）である．学会共催等依頼について，協賛依頼 6 件が報告された.

1.2会計幹事報告（小松会計幹事）

2020 年度の会計状況を分析するとともに，2021 年度の予算執行計画および 2022 年度予算編成の方針について説明が行われた．リガクファンドロに関して，本年度に延期された IUCr2021 への渡航費助成に支出することが報告された. 2010 年度以降の学会会計状況の推移について説明が行われ，2016 年度以降改善傾向にあることが示された．会計状況の推移を検証しつつ，会費水準の見直しや繰越金の有効活用等について検討していくことが説明された.

1.3編集幹事報告（禾庶務幹事（代理））

会誌（印刷版，電子版）の発行状況が報告されるとともに，今後の特集記事の企画につい

て報告された．情報幹事との連携で会誌の掲載方法の検討が進められていることが説明された．

1.4行事幹事報告（橋爪行事幹事）

コロナ禍で延期されていた「第 9 回対称性・群論トレーニングコース」（高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス）日本語コースが 9 月 13～17 日に対面形式で開催されることが報告された．

2021 年度年会が北海道大学を拠点としてハイブリッド開催されることが説明された（北海道大学学術交流会館，2021 年 11 月 19 日～21 日）．口頭発表とポスター発表はオンラインのみで開催し，総会と 70 周年記念シンポジウムはハイブリッド開催することが説明された．70 周年記念シンポジウムに関しては，プログラムの概要と講演予定者が示された．懇親会もオンラインで開催されることが説明された．札幌市からの開催支援をうけるために，道外からの積極的な現地参加が呼びかけられた．2022 年度年会は関西学院大学が開催準備を進めていること（開催日程、会場は検討中），2023 年度年会は山口大学が中心となり開催されることが報告された．

1.5情報幹事報告（岡崎情報幹事）

日本結晶学会ホームページの掲載と閲覧状況について報告された．編集幹事との連携で会誌ページでのクリスタリットの掲載方法の検討を進めていることが報告された．

1.6広報幹事報告（森広報幹事）

会員への毎月のメールマガジンおよび広報メールの配信実績について報告された．

1.7男女共同参画推進幹事報告（禾庶務幹事（代理））

男女共同参画学協会連絡会の第 18 期運営委員会への参加状況に関して報告された．コロナ禍で年会がオンライン開催されることから，年会時のランチョンセミナー等の企画は見送ることが報告された．

2　AsCA 関連（禾庶務幹事）

2021 年度からの AsCA 評議員の選出結果が報告された．6 年任期の AsCA 評議員が 3 年ごとに半数改選となるように，2021～2023 年度を任期として久保田佳基会員と宮原郁子会員を選出し，2021～2026 年度を任期として小松一生会員と杉本邦久会員を選出した．8 月の IUCr2021 開催前にオンラインで評議員会が開催される予定であることが報告された．

3　IUCr 関連

日本学術会議 IUCr 分科会の菅原幹事より，執行部の選挙がオンラインで行われること，IUCr2023（メルボルン）は延期せず 2023 年に開催される予定であること，2026 年の開催地としてカナダのカルガリーが立候補していることが報告された．日本からの IUCr2021 への現地参加は難しいことから，オンラインでの参加が呼びかけられた．

4　日本学術会議結晶学分科会関連

日本学術会議結晶学分科会の菅原委員長より，2020 年度に開催された公開 web シンポジウム「COVID-19 パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」の記録の作成状況について説明された．2022 年が国際基礎科学年（IYBSSD 2022）であることが説明され，関連する公開シンポジウムの開催が予定されていることが説明された．第 25 期新

規会員任命問題の状況について説明されるとともに，学術会議の活動を広報するための取り組みについても説明された．大学院博士後期課程進学者数の減少の問題に関連して、分子研所長招聘会議「広がる化学系博士人材の未来」が開催されたことが報告された．

5　電子投票の導入について

禾庶務幹事より，現状の郵送投票の仕組みと経費について説明されるとともに，電子投票に移行することの利点や移行および運用にかかる経費について説明された．2022 年度からの正式導入が可能かどうかを検証するため，2021 年度に行われる評議員候補者推薦選挙のみ情報委員会が作成する投票システムで電子投票を試行する方針が説明された．

6　メーリングリストについて

禾庶務幹事より，学会 HP 用のレンタルサーバーを利用することで，幹事会メンバー用および評議員会メンバー用のメーリングリストを作成したことが報告された．幹事会用メーリングリストは，幹事，監査役，次期会長をメンバーとし，評議員会用のメーリングリストは，評議員，幹事，監査役，次期会長をメンバーとすることが説明された．情報幹事がメールアドレスの登録と設定を行い，現状では，メーリングリストのメンバーのみが投稿できるように設定していることが説明された．

審議事項

1.　会員異動

2021 年度第 1 回評議員会以降の新規入会者の紹介，入会申込書類の回覧があり，全員の入会が満場一致で承認された．

2.　共催・協賛・後援

共催等依頼について別紙記載の協賛 6 件が満場一致で承認された．

日本学術会議結晶学分科会の菅原委員長から，日本学術会議による 70 周年記念シンポジウムの後援が提案され，日本結晶学会から後援依頼を行うことが満場一致で承認された．

3.　2021 年度学会賞

2021 年度学会賞選考委員会の答申を受け，山縣会長より授賞候補者として以下の 4 件が推薦され，満場一致で承認された．各賞の授賞者，授賞題目は以下のとおりである．

学術賞：　大原 高志　会員

「高精度単結晶中性子回折法による水素原子を鍵とする構造化学的研究」

学術賞：　禾　晃和　会員

「生体膜上で形成される低親和性蛋白質間相互作用の構造生物学的研究」

進歩賞：大津 博義　会員

「細孔性ネットワーク錯体の速度論的創成と相互作用性機能分子の構造化学研究」

進歩賞：吉澤　拓也　会員

「RNA 結合タンパク質の相分離制御に関する研究」

なお，各賞の推薦理由書については，評議員会終了後，選考委員会で文面の修正を行い，メール審議で評議員会の承認をとることとした．

4.　名誉会員推戴について

山縣会長より，田中 勲会員を名誉会員に推戴する提案書が提出されたことが報告され，名誉会員推戴を 11 月に開催される 2021 年度日本結晶学会総会に諮ることが満場一致で承認された.

5. 若手会員の支援に向けた取り組みついて

小松会計幹事より，学生会員から正会員への移行や新規の若手研究者の入会を促進するために，若手会員に会費の割引を適用するキャンペーンを行うことが提案された. 会誌なしの会費を 3,000 円，会誌ありの会費を 6,000 円として，学生会員の資格を喪失してから 3 年未満の場合は 3 年間割引を適用すること，学生会員の資格を喪失してから 4 年または 5 年未満の場合もそれぞれ 2 年間または 1 年間は割引を適用することが提案され，満場一致で承認された．2022 年度より 3 年間試行し，検証・再検討する方針が示された．若手会員キャンペーンを行う理念を発信する方法については，メール審議で継続的に検討することとなった.

6. 会員確保のための企画に関して

橋爪行事幹事より，新規会員を獲得し，会員のメリットを感じて継続してもらうために，会員は無料､非会員は会費と同等の参加費で参加可能である，包括的研究セミナー(月 1 回)，構造物質科学や構造生物学の講義・演習（月 1 回、通年)，構造解析スクール（年 3-6 回）を企画することが提案され，包括的研究セミナーから 2021 年度年会後の 11 月または 12 月に開始することが満場一致で承認された.

7. 学会 HP での賛助会員の情報の掲載について

禾庶務幹事より，学会 HP のトップページに賛助会員の企業・団体のロゴを表示することが提案され，満場一致で承認された.

8. 次回評議員会日程

次回（2021 年度第 3 回）評議員会について，下記の開催案が提案された．Zoom によるオンライン開催とする方針が説明された．幹事会については，評議員会開催前にオンラインで開催する方針が示された.

日時：2021 年 11 月 18 日（木）　評議員会 15:00 – 18:00
場所：日本結晶学会事務局を拠点に Zoom によるリモート開催

以上